

# 事務事業チェックシート

事務事業No 582 事業名 小学校改築事業

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	1	学校教育の充実
施策	3	小・中学校教育の充実
基本方針	5	学習環境の充実

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	H21	～
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	教育施設課	清水 幹夫 (435-1136)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計	一般会計	
	款	教育費	
	項	小学校費	
	目	小) 施設整備費	
	大事業	小学校施設整備事業	
事項	小学校改築事業 (補助・単独)		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束	学校環境の整備 (エアコン、洋式トイレ設置)			

### 1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	各小学校の施設をより安全かつ快適なものにする。	各小学校施設整備工事及び施工予定工事の実施設計業務委託等。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		屋外便所設置工事 (直川小、楠見西小、有功小、貴志南小) 受水槽耐震化工事 (広瀬小、雑賀崎小、有功東小) 小学校体育館照明取替工事 20校 基本・実施設計等委託 (小中一貫校、直川小、芦原小、大新小)	屋外便所設置工事 (砂山小、西和佐小) 直川小グラウンド拡幅工事 小学校体育館照明取替工事 12校 プール改築工事 (大新小、芦原小) 今福小下水切替工事 実施設計等委託 (藤戸台小)	小学校体育館吊天井撤去工事 13校 藤戸台小増床工事 老朽化ガス管改修工事 (高松小) 高圧受変電設備設置工事 (山東小) 松江小公共有下水切替工事	他工事未定	他工事未定

### 2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	488,669	358,700	812,353	510,011	632,213		632,213		632,213	
伸び率 (%)	-	-	66.2%		-22.2%		0.0%		0.0%	
人件費		67,233		53,160						
常勤職員										
非常勤職員										
小計		67,233								
国庫支出金	82,064	75,396	86,629	113,046	104,194		104,194		104,194	
県支出金	0	0								
市債	215,000	164,700	594,000	299,800	359,800		359,800		359,800	
その他	18,966	48,734	75,816	132,475						
一般財源 (税等)	172,639	69,870	55,908	34,690	168,219		168,219		168,219	
所要人数		10.23		7.15						
常勤職員										
非常勤職員										
主な予算内訳	工事請負費 631,670千円									

### 3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	契約件数 (委託)	年度目標値			4	1			
		実績値			4	1			
	単位	件	全体目標値		全体目標達成度	100.0%			
	契約件数 (工事)	年度目標値			17	14			
		実績値			17	14			
	単位	件	全体目標値		全体目標達成度	100.0%			
成果指標	完了件数 (委託)	年度目標値			4	1			
		実績値			5	1			
	単位	件	全体目標値		全体目標達成度	125.0%			
	完了件数 (工事)	年度目標値			17	14			
		実績値			16	14			
	単位	件	全体目標値		全体目標達成度	94.1%			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	各学校施設の状況及び国の補助対象事業メニューの採択状況等を鑑み、非構造部材の耐震化や施設の老朽化に伴う改築、長寿命化を行うため、計画的な整備を進めて行く必要がある。
「見直し」 「改善」案	特に老朽化対策については、インフラ長寿命化計画を策定する必要がある。